

海域	経 過 (4～5月)	現況(6月上旬～ 6月中旬)	見通し (7月～8月)	見通しの背景	特異現象 (漁海況)
三陸北部 (青森県太平洋沿岸； 青森水総研発表)	・定地水温:4月～5月は平年並み～やや高めで経過した。	・定地水温は平年並み～高め。 ・6月の津軽暖流の各層水温は表面、50m層、100m層の各層で平年並み。水塊深度は極めて浅め、東方への張り出しは平年並み(太平洋海洋観測結果)。 ・6月の対馬暖流の各層水温は表面で平年並み、50m層及び100m層でやや高め(日本海海洋観測結果)。	・津軽暖流域の水温は平年並み～低めで推移する。	・FRA-ROMSによると、7月は表層で高めと予測されているが、50m層以深では平年並み～かなり低めと予測されている。 ・津軽暖流の張り出しは強めの傾向がみられる。	特になし。
三陸中部 (岩手県沿岸； 岩手水セ発表)	【4月】 (4/7～9) 《表面水温》 10海里以内は7～8℃台であり、黒埼定線で「平年並」～「やや高い」、トドヶ埼、尾埼定線で「やや高い」、椿島定線で「平年並」となった。 20～50海里は3～9℃台であり、黒埼、椿島定線で「やや低い」～「やや高い」、トドヶ埼、尾埼定線で「やや低い」～「平年並」となった。 《100m深水温》 10海里以内は5～7℃台であり、黒崎、椿島定線で「平年並」、トドヶ埼、尾埼定線で「平年並」～「やや高い」となった。 20～50海里は2～7℃台であり、黒埼、尾埼定線で「やや低い」～「平年並」、トドヶ埼定線で「やや低い」～「やや高い」、椿島定線で「平年並」となった。 【5月】 (5/8～9、12) 《表面水温》 10海里以内は8～10℃台であり、黒埼、トドヶ埼、尾埼定線で「平年並」～「やや高い」、椿島定線で「平年並」となった。 20～50海里は7～14℃台であり、黒埼定線で「やや高い」、トドヶ埼定線で「やや高い」～「高い」、尾埼定線で「平年並」～「高い」、椿島定線で「やや低い」～「高い」となった。 《100m深水温》 10海里以内は5～8℃台であり、黒埼、トドヶ埼定線で「平年並」～「やや高い」、尾埼定線で「やや低い」～「平年並」、椿島定線で「平年並」となった。 20～50海里は1～10℃台であり、黒埼定線で「やや高い」、トドヶ埼、尾埼定線で「平年並」～「高い」、椿島定線で「低い」～「平年並」となった。	【6月】 (6/3、9～10) 《表面水温》 10海里以内は10～15℃台であり、黒埼定線で「やや低い」～「やや高い」、トドヶ埼定線で「平年並」、尾埼、椿島定線で「平年並」～「高い」となった。 20～50海里は10～17℃台であり、黒埼定線で「平年並」、トドヶ埼定線で「やや低い」～「やや高い」、尾埼、椿島定線で「平年並」～「やや高い」となった。 《100m深水温》 10海里以内は8～10℃台であり、黒埼定線で「平年並」、トドヶ埼、椿島定線で「やや高い」、尾埼定線で「平年並」～「やや高い」となった。 20～50海里は4～12℃台であり、黒埼定線で「やや低い」～「やや高い」、トドヶ埼定線で「やや高い」～「高い」、尾埼定線で「やや高い」、椿島定線で「平年並」～「やや高い」となった。	2024年11月以降、欠測(11月は32定点の内、12定点が欠測、12月は28定点の内、25定点が欠測、2月は28定点の内、12定点が欠測)が多く、海域全体の今後の見通しが予測できなかった。 FRA-ROMSⅡ及び気象庁の海況予測図から6月下旬には黒潮統流の勢力が強まり、表面水温は上昇する傾向にある。	FRA-ROMSⅡの2025年6月30日、7月14日及び7月31日予測図、気象庁海面予想図(2025年7月14日予想図)による。	主要6港における4月上旬から6月中旬のイカナゴ(コウナゴ)の水揚げは約6トン(前年:実績なし)であった。
三陸南部 (宮城県沿岸； 宮城水セ発表)	4月は親潮系冷水の南下により142° E以東で平年より1～3℃低かった。仙台湾等の沿岸では平年より1～3℃高かった。 5月は親潮系冷水が北上し概ね平年並みであったが、表面水温は前年に比べ1～2℃低かった。	沿岸表面水温は仙台湾内で平年より2～4℃程度高めであるが、その他は概ね平年並みであった。	沿岸域は黒潮系暖水の波及によりやや高めで推移すると思われる。仙台湾等の沿岸では気温の影響を受け高めで推移する。	FRA-ROMSⅡ等の予報により黒潮統流から暖水塊が切り離され宮城県沖に滞留すること、気象庁の3か月予報で気温が高めの確立が高いことを考慮した。	県北の気仙沼魚市場では、南方系魚種のタチウオやチダイの水揚げが大幅に減少している。
常磐北部 (福島県沿岸； 福島水海セ発表)	【4月】 《100m深水温》 北部沿岸は「平年並み」 南部沿岸は「平年並み」 親潮系冷水が鶴ノ尾埼定線(北部沿岸)の距岸50海里に観測された。 なお中部海域は欠測。 【5月】 北部沿岸は「平年並み」	【6月】 《100m深水温》 北部沿岸は「平年並み」 中部沿岸は「やや高め」 南部沿岸は「高め」 黒潮統流が塩屋埼定線(南部沿岸)の距岸50海里に観測された。	【7月】 「平年並み～やや高い」 【8月】 「やや高い」	FRA-ROMSⅡの予測によると、7月の福島県海域142°00'E以西における100m深水温は、平年差0℃～4℃の領域が大半を占めており、「平年並み～高い」に相当している。また、8月の予測では黒潮系暖水が波及するとみられ、高め基調で推移すると考えられる。	特になし

	中部沿岸は「平年並み」 南部沿岸は「やや低め」 ※北部:37°50'N 中部:37°25'N 南部:37°00'N			気象庁の「海面水温・海流1 か月予報」(令和7年6月10日 発表、対象期間6月11日～7 月10日)によると、本州東方の 海面水温は「平年並みか平年 より高い」とされている。	
常磐南部 ～鹿島灘 (茨城県 沿岸； 茨城水試 発表)	【4月】 平年と比較すると、0m深では全域で「平年並～やや高め」、50m以深では冷水が差し込む会瀬沖で「平年並～やや低め」、黒潮からの暖水波及の影響を受ける大洗～犬吠埼沖で「平年並～やや高め」となった。 【5月】 平年と比較すると、黒潮統流の接近や暖水波及の影響を受け、全層で141°E以西および141°30'E以東では概ね「やや高め～高め」、141°～141°30'Eでは概ね「平年並～やや高め」となった。	平年と比較すると、141°E以東の会瀬～大洗沖全層、141°～141°30'Eの鹿島沖全層および141°E以西の50m深全域では暖水波及の影響を受け概ね「やや高め～高め」、0m深の大洗沖141°E以西では沿岸域に残っている冷水の影響を受け概ね「やや低め」となった。	0m深では全域で概ね「やや高め～高め」、50m以深では、鹿島～犬吠埼沖141°30'E付近以東で黒潮統流の離岸の影響を受け「平年並～やや高め」、その他で黒潮からの暖水波及の影響を受け「やや高め～高め」で推移する。	海洋観測結果、気象庁「海洋の健康診断表」、FRA-ROMS IIによる。	

各階級の水温平年偏差の範囲

階級区分(出現率)	三陸北部	三陸中部	三陸中部	三陸南部	常磐北部	常磐南部～鹿島灘
		距岸10海里内	距岸10～70海里			
極めて高い(2.5%)	+3.3℃～	+3.8℃～	+6.1℃～	+5.8℃～	+4.9℃～	+6.1℃～
高い (7.5%)	+2.2～+3.2℃	+2.4～+3.7℃	+3.9～+6.0℃	+3.8～+5.7℃	+3.2～+4.8℃	+4.0～+6.0℃
やや高い (20%)	+0.9～+2.1℃	+1.0～+2.3℃	+1.6～+3.8℃	+1.5～+3.7℃	+1.3～+3.1℃	+1.6～+3.9℃
平年並 (40%)	+0.8～-0.8℃	+0.9～-0.9℃	+1.5～-1.5℃	+1.4～-1.4℃	+1.2～-1.2℃	+1.5～-1.5℃
やや低い (20%)	-0.9～-2.1℃	-1.0～-2.3℃	-1.6～-3.8℃	-1.5～-3.7℃	-1.3～-3.1℃	-1.6～-3.9℃
低い (7.5%)	-2.2～-3.2℃	-2.4～-3.7℃	-3.9～-6.0℃	-3.8～-5.7℃	-3.2～-4.8℃	-4.0～-6.0℃
極めて低い(2.5%)	-3.3℃～	-3.8℃～	-6.1℃～	-5.8℃～	-4.9℃～	-6.1℃～

1991年1月～2020年12月の100m深度の観測水温を基に階級区分している